

処方用法コード標準化検討WGの設置  
2010.11.21 部会総会承認

「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書」（平成22年1月29日厚生労働省医政局総務課医療安全推進室）の8ページ 5.1）に「処方オーダーリングシステム等には、原則として服用回数、服用のタイミングに関する標準用法マスタを使用することとする」との記載があり、標準用法マスターの整備が求められており、日本医療情報学会および保健福祉情報システム工業会など関連団体が標準を策定し公表することが期待されている。

そこで関係するJAMIメンバーとJAHISとで2010年2月以降、6回の打ち合わせを開催して原案を策定した。具体的には、同検討会で議論された標準用法記述に対して対応づける標準コード体系の仕様を定め、個々の標準コードを定め今後オーダーリングシステムや医療機関情報連携場面での使用を推奨していく趣旨のものである。

そこで、本部会に、新ためてWGを設置し、本原案をWG原案として位置づけて、JAMI標準策定プロセスのSTEP3の後段以降を実施する。また同時にSTEP2にある公表を行う。

WG名称： 処方用法コード標準化検討WG

WG座長： 大江和彦

WGメンバー：土屋文人（内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会）、古川部会員（薬剤担当）、玉川部会員（歯科担当）、宇都部会員（看護担当）、近藤部会員（臨床担当）、篠田英範（JAHIS）、下邨雅一（富士通）、中田英男（日本電気）、橋詰明英（日立製作所）、山口一人（富士通）、大月宏（日本電気）  
オブザーバ：厚生労働省医政局総務課医療安全推進室

WG設置期間：2010年11月21日～2011年11月20日